

認知症の人と家族への援助をすすめる第30回全国研究集会 in あおもり  
発表者公募と認知症ほっと三行レター募集のお知らせ  
—全国研究集会における“事例発表”と“認知症ほっと三行レター”を募集しています—

全国研究集会概要

日 時：2014年11月2日（日）9:30～16:00

会 場：青森市民ホール（青森県青森市柳川1丁目2番14号）

主 催：公益社団法人 認知症の人と家族の会（担当＝青森県支部）

テークマ：「生かされる」から「生きる」へ  
～本人・家族が尊厳をもって生きられる時代～

目 的：国民病ともいえる認知症は、その予備軍を含めると65歳以上の4人に1人といわれるほど増加しています。何の支援もなかった30年前に比べれば、格段の進歩はあるものの、最近の介護保険制度改革の議論では認知症の人と家族が安心して暮らせる社会どころか、後退している印象さえ受けます。

今回は、これまでの会の歴史、日本の認知症介護の変遷を踏まえ、認知症の人と介護家族の支援を再考することを目的に本大会を開催いたします。

内 容：○講演 演題：『若年性認知症の人と家族とともに歩んで～神経内科医として～』

講師：東海林 幹夫 氏（弘前大学大学院医学研究科 脳神経内科学講座教授）

○事例発表：公募による口述発表

○シンポジウム

○その他：展示コーナー、認知症ほっと三行レター掲示等

事例発表公募要領

○事例発表内容：上記の目的を踏まえ、下記1～3に関連した実践や体験を発表して下さい。

- 1 介護保険制度の問題点、有用な制度にするための提案など
- 2 本人・家族支援についての先駆的事例
- 3 若年認知症者支援について

○発表者：立場や職種を問いません。どなたでも応募できます。

○発表時間：口述発表15分程度

○応募方法：発表の表題、趣旨（1,000字程度）、住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号を明記して、郵便またはEメールでお寄せください。

○応募先：郵便〒602-8143 京都市上京区堀川通丸太町下る京都社会福祉会館2階  
「家族の会」本部事務局「全国研究集会事例発表」係  
Eメール office@alzheimer.or.jp

○締め切り：6月30日（月）（選考結果については後日ご連絡します）

## 認知症ほっと三行レター応募方法

—認知症に関わる出来事、心情を 60 字以内で表現するものです。認知症に関する内容であればどんな内容でも結構です。日頃感じておられるあなたのお気持ちをお寄せください。—

昨年開かれた八戸フォーラム応募作品から

今日もいい日だったね。また明日  
おまじないのように言い続けたその言葉。  
今も毎日語りかけます。あなたの写真に。

○募集部門：①認知症の本人部門 ②家族部門 ③看護・介護部門  
④認知症サポーター・一般部門

○応募方法：発表作品、応募部門、住所、氏名、年齢、性別、職業（学校名）、電話番号、匿名希望の有無を明記して、支部ホームページからか、もしくはハガキでお寄せください。

インターネット：青森県支部全研専用ホームページ  
<http://aomori-alzheimer.jimdo.com/>

ハガキ：〒031-0841 青森県八戸市鮫町字居合 1-3  
「家族の会」青森県支部「認知症ほっと三行レター」係

○締め切り：7月31日（木）当日消印有効

○選考・表彰：実行委員会による選考、および当日の来場者投票により入賞者を決定し、同日会場にて発表予定。